



## アドビ、Adobe MAX 2016 で クリエイティビティとデザインの未来を披露

※当資料は、2016年11月2日に米国本社から発表されたプレスリリースの抄訳です。

【2016年11月2日】

米国カリフォルニア州サンディエゴ発：本日、クリエイティビティに関する世界最大規模のカンファレンスであるAdobe MAX 2016に、1万人以上のクリエイティブ業界関係者が集結しました。Adobe (Nasdaq: ADBE) (本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ)はAdobe MAXで、エクスペリエンスデザインと、フォトグラフィと3Dの合成のための全く新しいタイプのアプリケーションに加え、現在アドビのリサーチラボで開発中のプロジェクトを含む次世代のCreative Cloudのイノベーションの数々を紹介します。さらにアドビは、ユーザーのデジタルエクスペリエンスのデザインと配信のやり方を劇的に改善することを目的とした新たなフレームワークでありAdobe Cloud Platform全体を横断的にカバーする一連のインテリジェントサービスであるAdobe Senseiを発表します。Adobe MAXでは映画監督のクエンティン タランティーノ (Quentin Tarantino)、ファッションデザイナーのザック ポーゼン (Zac Posen)、写真家のリンジー アダリオ (Lynsey Addario) ら、人々にインスピレーションを与えるクリエイティブ業界のリーダーたちによる基調講演が行われます。基調講演は日本時間11月3日 (木) 午前1時半と11月4日 (金) 午前2時に行われ、<http://www.adobe.com/go/maxkeynote> にてライブストリーミング視聴が可能です。

アドビのデジタルメディア事業部門担当エグゼクティブバイスプレジデント兼ゼネラルマネージャーであるブライアン ラムキン (Bryan Lamkin) は次のように述べています。

「Adobe MAXは、Creative Cloudの最新のイノベーションに触れるとともに、世界トップクラスのクリエイターたちからインスピレーションを得るためにクリエイティブ コミュニティが集う場です。今年のMAXでは、エクスペリエンスデザイン、フォトグラフィ、バーチャルリアリティ、キャラクターアニメーション、3D合成における画期的な進化を披露します。」

### Creative Cloudの新たなイノベーションを披露

- Webサイトとモバイルアプリのユーザーエクスペリエンスのデザイン、プロトタイプング、共有のすべてが可能な初のツールである[Adobe Experience Design CC \(XD\)](#)の新たなMac版リリースでは、ユーザーからの要望が大きかったレイヤーとシンボルの2つの機能がサポートされます。アドビのフラッグシップ製品であるPhotoshopとIllustratorの2つのデザインツールで広く使われるようになったレイヤーとシンボル機能を、XDではユーザーエクスペリエンス (UX) デザイナー特有のニーズに応えるように刷新しました。XDを使うデザイナーは、簡単にプロトタイプを共有し、フィードバックをリアルタイムで取得できるようになりました。Adobe MAXでは、ドキュメントの共同編集、ビジュアルなバージョン管理、Creative Cloud Librariesの拡張を含

む、[リアルタイムのコラボレーション](#)を可能にする新機能のスニークプレビューを行います。このイノベーションによってデザイナーや企業は、高品質コンテンツへの高まる需要に応えることができます。

- [Project Felix](#)は、グラフィックデザイナーが製品写真のカンプ作成、シーンの視覚化、抽象的デザインなどのプロジェクトで、2Dと3Dのアセットを組み合わせることで簡単に写真のような高品質画像を作り出すことができる業界初のデザインツールです。アプリケーションの中から直接Adobe Stockにある3Dのモデル、マテリアル、ライトにアクセスでき、マテリアル、ライト、カメラアングルなどのプロパティを個別にカスタマイズすることができます。レンダリングはリアルタイムで行われるため、Photoshopに書き出してデザインを完成させる前に、編集しながら作品のプレビューが行えます。
- 映像製作者向けには、アドビの一連のビデオツールでVR、キャラクターアニメーション、3Dの機能が拡張されました。次期リリースの[Premiere Pro CC](#)には、立体視用と平面視用のメディアをシームレスに検出し、それぞれに適切な設定を適用するVR自動識別機能が加わります。先日のIBCで初披露したPremiere Pro、After Effects CC、Prelude CCのアップデートには、Creative Cloudグループ版とエンタープライズ版のメンバーが利用できる、プロジェクトの共同編集とコラボレーションを可能にするチームプロジェクト（ベータ版）も含まれます。[After Effects](#)には、新たに3Dコンテンツ作成のスピードと効率を高めるCinema 4Dレンダラーを搭載します。以上に加え、Premiere Pro に追加されたAdobe Marketing Cloudのテクノロジーに基づく[ソーシャル パブリッシング パネル（ベータ版）](#)では、ビデオをソーシャルチャンネル向けに素早く書き出すことができるほか、ビデオコンテンツのデータ分析にも対応します。ソーシャルパブリッシング パネル（ベータ版）に関する詳細と利用の申し込みは[こちらのページ](#)をご参照ください。
- [Adobe Sensei](#)は、Adobe Cloud Platformに組み込まれるフレームワークであり、一連のインテリジェントサービスで、アドビの大量のコンテンツとデータのアセットを利用して、ユーザーがより迅速かつスマートに仕事を進められるようにします。クリエイター向けには、Adobe Senseiは日常的なタスクを自動化することで、ユーザーがより多くの時間をデザインや着想に使えるようにします。アドビは過去何年にもわたってマシンラーニングと人工知能（AI）をクリエイティブアプリケーションに採用し、顔認識、一連の「コンテンツに応じた」機能、カメラ手ぶれ補正などの機能を実現してきました。最新のCreative Cloudでは、Photoshopが搭載するAdobe Stockのビジュアル検索、マッチフォント、顔立ちを調整の各機能にAdobe Senseiが使われています。Adobe Senseiに関する詳細情報は別途発行するプレスリリースをご参照ください。

### Adobe Stockに関するアップデート

[Adobe Stock](#)は人々が自身の作品を広く公開し、販売するやり方に変革をもたらしました。今回のMAXで、アドビは世界最大のマルチメディアニュースプロバイダーであるロイターとのパートナーシップを発表しました。このパートナーシップに基づき、[ロイター](#)のビデオと写真をAdobe Stockの新たなエディトリアルコレクションとして販売します。これらのアセットはCreative Cloudを通じて入手可能です。クリエイターが利用可能なロイターのエディトリアルコンテンツには以下が含まれます。

- 現在1,200万枚を超える画像が保存され、毎日数千枚の画像が新たに追加されている、ニュース、スポーツ、エンターテインメントイベントの写真アーカイブ
- 世界中の主要イベントすべてをカバーしたビデオ映像と、古くは1890年代に遡る、100万本を超えるニュース映像をはじめとするロイター独自の歴史的な映像アーカイブ

2016年9月にベータ版として開設されたAdobe StockコントリビューターポータルはMAXで正式公開となり、コントリビューターは自身の作品をCreative Cloudを通じて世界最大のクリエイティブコミュニティに販売することができます。現在Adobe Stockは、6,000万点以上のロイヤリティフリーの高品質な写真、ビデオ、イラストレーション、グラフィックス、3Dモデルを提供するほか、Creative Cloudメンバーが新たなプロジェクトを簡単に開始できるように支援するテンプレートが新たに加われました。Adobe Stockはまた、類似した人気画像のキーワードをもとに各画像に付与するキーワードの最初の5つを自動生成して時間を節約する自動タグ付け機能（ベータ版）をはじめ、マシンラーニングを活用することで、よりよい検索とコントリビューターのワークフローを実現します。

また、アドビは新たに、Frere-Jones Type、Type Network/Font Bureau、Émigréをはじめとする大手メーカーのフォントを個別に検索、購入、管理するための新たな手段となる[Adobe Typekitマーケットプレイス](#)を提供開始します。現在Creative Cloudの一部として提供しているTypekitのサブスクリプションを補完するサービスとして、TypekitマーケットプレイスはCreative Cloudツールと連携し、利用可能なフォントの種類を約2倍に拡大します。個人、企業を問わず、Typekitマーケットプレイスを使えば、webサイト、マーケティング資料、招待状など、プロフェッショナルなものから個人使用にいたるデザインプロジェクトで使用するフォントの検索と購入が非常に簡単に行えるようになります。

### Creative Cloudのメジャーアップデート

Creative Cloudのアップデートには、コラボレーション、ラーニング、必要なものを見つけやすさを向上し、ユーザーが最高の作品をより迅速に仕上げることを支援するための新たなツールとサービスおよび機能が含まれています。主要なアップデートにはDreamweaver CCの新しいインターフェイスと高速で柔軟なコーディングエンジン、Photoshopに搭載されるツール、パネル、メニュー、Adobe Stockのアセット、ヘルプコンテンツ、チュートリアルを迅速に検索できる新しいユニバーサルサーチバーがあげられます。[Adobe Spark](#)を使えば誰もが簡単に印象的なコンテンツを作成、共有でき、またCreative Cloudの有償メンバー向けの専用機能の提供を開始します。さらに今回のリリースで、人気の高いモバイルアプリケーションPhotoshop Sketch、Adobe Comp CC、Photoshop FixのAndroid版が提供開始されます。

Creative Cloudの最新のイノベーション全体については[こちら](#)をご覧ください。

- Photoshop CC、Photoshop Sketch、Photoshop Fix、Photoshop Mixの最新のアップデートおよびProject Felixの概要は[こちら](#)をご覧ください。
- グラフィックデザイナー向けのIllustrator CCとInDesign CCのアップデートは[こちら](#)をご覧ください。
- Webデザイナー向けの[Dreamweaver CC](#)、[Animate CC](#)のアップデートはそれぞれのリンク先をご覧ください。
- 映像製作者向けのビデオ製品、オーディオ製品全体の最新情報は[こちら](#)をご覧ください。[Character Animator \(ベータ版\)](#)、[Audition CC](#)のアップデートはそれぞれのリンク先をご覧ください。
- Photoshop Sketch CCで使用できるカイル ウェブスター (Kyle Webster) 氏デザインのPhotoshopブラシの詳細は[こちら](#)をご覧ください。
- アドビが実施した調査「State of Create: 2016」については[こちら](#)をご覧ください。この調査では、クリエイティビティへの投資が、収益増、競争力の強化、生産性の向上といった具体的な利益をもたらすことが示されています。

### 価格および提供時期

Creative Cloudデスクトップ版のアップデートは、本年末までにCreative Cloudメンバー向けに提供開始されます。購入プランには個人、学生、グループ、教育機関、官公庁、エンタープライズ向けがあります。価格の詳細は <https://creative.adobe.com/plans> をご覧ください。モバイルアプリの最新版は、Apple App StoreとGoogle Playでダウンロード提供を開始しています。Adobe Stockを年払いのCreative Cloudプランに追加した場合、ストックコンテンツを個別に購入する場合と比べて費用を最大40%節約することができます。Adobe Stockの価格設定については<https://stock.adobe.com/plans>をご覧ください。

### アドビについて

アドビは、世界を動かすデジタル体験を提供します。

アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、[webサイト](#)に掲載されています。

Adobe, the Adobe logo, Adobe Animate, Adobe Comp, Adobe Experience Design CC, Adobe Marketing Cloud, Adobe Premiere Pro, Adobe Stock, After Effects, Creative Cloud, Creative Cloud Libraries, Dreamweaver, Illustrator, InDesign, Photoshop, Photoshop Fix, Photoshop Sketch, Prelude, Typekit are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated, in the United States and/or other countries.

© 2016 Adobe Systems Incorporated. All other trademarks are the property of their respective owners.